



上) 宮本三郎《溪流》油彩・キャンパス、1959年  
下) 宮本三郎《絵皿「鷺」》陶磁器・油彩、1955年

小松市立宮本三郎美術館 企画展

# コレクションの彩り

2023年7月29日(土)～9月10日(日)

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日／月曜日

入館料／一般300円(20名以上の団体250円)

※高校生以下無料 ※こまつミュージアム・パス対応

※障がい者手帳等お持ちの方と介助者1名、

および、「ミライロID」アプリ提示者と介助者1名は無料



HPはこちら

小松市立  
 宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小松市小馬出町5  
☎0761-20-3600

交通の  
ご案内

○JR小松駅より徒歩15分、タクシー5分  
○北陸自動車道小松 I.Cより車で10分  
○バス「市役所前」又は「京町」下車、徒歩5分  
※駐車場は、周辺の市営駐車場をご利用ください



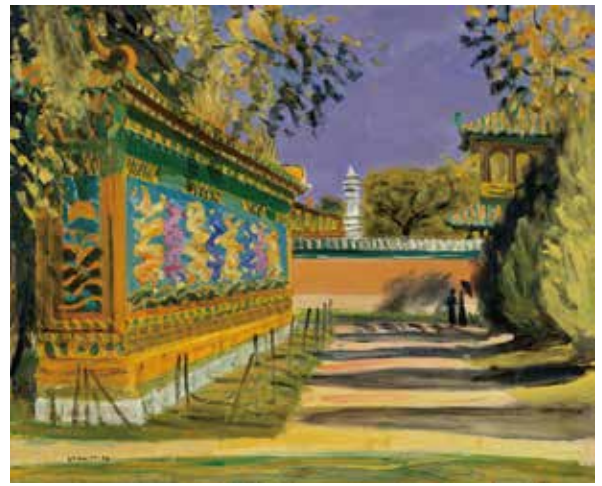


# コレクションの彩り

2023年7月29日(土)～9月10日(日)

当館のコレクションは、画家・宮本三郎（小松市松崎町出身／1905－1974）のご親族からの寄贈作品111点を主として201点を数えます。本コレクションは、花や女性、風景など宮本三郎の青年期から晩年までの油彩画作品に加え、卓越した描写力が発揮されたデッサンや、一時期制作していた焼き物など幅広いものです。

本展では、宮本三郎が室内・屋外で描いた絵画に分け、それらの作品の魅力を紹介します。プライベートな空間である室内で描いた絵画には、アトリエの様子や画家の何気ない日常が描かれており、インテリアや小物へのこだわり、画家とモデルとの関係性が垣間見えます。一方で、屋外で描いた絵画には、山や水辺などの自然が描かれています。形よりも色や距離を表現することで、日の光や雲の動きなどが時間の経過とともに変化するその一瞬を捉えています。モチーフの取り合わせや色使いに注目してお楽しみください。



1



2



3

## 小松市立 宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小松市小馬出町5  
☎0761-20-3600

開館時間 | 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日

入館料 | 一般300円(20名以上の団体250円)  
高校生以下無料

- 1. 宮本三郎《九龍壁》油彩・キャンパス、1941年頃
- 2. 宮本三郎《扁壺「カマキリ」》陶磁器・焼付け、1954年
- 3. 宮本三郎《婦人立像》油彩・キャンパス1947～48年頃

## 「学芸員によるギャラリートーク」

日時：8月13日(日)、9月9日(土) いずれも11:00～

## 関連イベント「初めての油絵に挑戦！」(要申込)

日時：8月5日(土) 13:00～16:00 小学1～3年生

8月6日(日) 9:00～12:00 小学4年生以上

講師：寺西 武久(画家) 参加費：1組1,500円

対象：小学生以上の親子10組(各日抽選)

申込期間：7月8日(土)～7月21日(金)

展示期間：8月12日(土)～8月19日(土)

イベントの詳細、  
お申込はこちら

宮本三郎美術館  
☎0761-20-3600



### 交通のご案内

#### 【宮本三郎美術館】

- JR小松駅より徒歩15分、タクシー5分
  - 北陸自動車道小松 I.C.より車で10分
  - バス「市役所前」又は「京町」下車、徒歩5分
- ※駐車場は、周辺の市営駐車場をご利用ください

#### 【宮本三郎ふるさと館】

- 北陸自動車道小松 I.C.より車で12分
  - 小松空港よりタクシーで10分
  - 宮本三郎美術館より車で10分
- ※駐車場は、松崎町公民館(ふるさと館前)の駐車場をご利用ください

企画展 **宮本三郎と「文学」**  
～小松をめぐる～  
2023年7月8日(土)～9月10日(日)

洋画家・宮本三郎や作家・森山啓は、  
小松をどのように捉えたのか。  
「美術」と「文学」を横断する展覧会。

小松市立 **宮本三郎ふるさと館** **入館無料**

〒923-0982 石川県小松市松崎町16-1 ☎0761-43-3032  
開館時間 | 9:00～17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 | 月曜日(7月17日を除く)、7月18日(火)

### 次回予告

9月23日(土・祝)～11月5日(日)

宮本三郎美術館特別展「第7回宮本三郎記念デッサン大賞展」  
宮本三郎ふるさと館企画展「喜びを謳え!—宮本三郎の花と裸婦—」